

機種名:HA8000/RV3000/BS2500

- [Windowsをご使用の環境にて日立製 16Gb FC アダプタとストレージの直結構成時、接続先ディスクが OS から突然取り外される不具合について](#)
- [問題点に関する詳細情報](#)
- [対策に関する情報](#)

Windowsをご使用の環境にて日立製 16Gb FC アダプタとストレージの直結構成時、接続先ディスクが OS から突然取り外される不具合について

■重要度
重要

■問題点に関する詳細情報

<現象>

日立製 16Gb FC アダプタ(以下 FC-HBA と示します)にて、Windows 環境でご使用、且つサーバとストレージがファイバーチャネルスイッチを経由せずに直結される構成において、FC 接続経路の一時的な故障時、接続先のディスクが OS から突然取り外され、データアクセス不可や OS の BSoD が発生する可能性があります。

<現象発生時の判別方法>

現象発生時には、イベントビューアに以下の 2 つのイベントが検知されます。(BSoD 発生時以外)

- ソース=disk, イベント ID=157,
イベント=「ディスク X (*1) が突然取り外されました。」(*1)X は OS から見えるディスク番号
- ソース=hfcwdd, イベント ID=18, ErrorNo=0x17
イベント=「hfcwdd はファイバチャネルアダプタの接続形態の変更を検出しました。」

<発生条件>

下記の全てを満たした場合、本現象が発生する可能性があります。

- Windows 環境で使用している。
- サーバとストレージを直結接続している。
- 日立製 16Gb FC-HBA を搭載している。対象機器を参照。
- 日立製 16Gb FC-HBA 対象バージョンのドライバを使用している。

<対象機器>

#	対象装置	FC アダプタ種	対象製品名	形名
1	HA8000	日立製 Fibre Channel ボード	Hitachi Gigabit Fibre Channel Board (16Gbps, 1Port, Full Height)	GQ-CC7F11**
2			Hitachi Gigabit Fibre Channel Board (16Gbps, 2Port, Full Height)	GQ-CC7F21**
3			Hitachi Gigabit Fibre Channel Board (16Gbps, 1Port, Low Profile)	GQ-CC7F12**
4			Hitachi Gigabit Fibre Channel Board (16Gbps, 2Port, Low Profile)	GQ-CC7F22**
5	RV3000	日立製 Fibre Channel ボード	Hitachi Gigabit Fibre Channel Board (16Gbps, 1Port)	TK****-CC7F11
6			Hitachi Gigabit Fibre Channel Board (16Gbps, 2Port)	TK****-CC7F21
7	BladeSymphony BS2500	日立製 Fibre Channel ボード	Hitachi Gigabit Fibre Channel Board (16Gbps, 1Port)	G*-SCC4N161N1** G*-CC4N161N1**
8			Hitachi Gigabit Fibre Channel Board (16Gbps, 2Port)	G*-SCC4N162N1** G*-CC4N162N1**
9			I/O スロット 拡張装置	Hitachi Gigabit Fibre Channel Board for IOD (16Gbps, 2Port)

※「**」はお客さまのご購入製品により相違します。

<対象ドライババージョン>

#	対象 OS	対象バージョン	
1	Windows	Win2012	4.3.8.2070 ~ 4.3.8.2310
2		Win2012R2	4.4.8.2070 ~ 4.4.8.2310
3		Win2016	4.5.8.2240 ~ 4.5.8.2310
4		Win2019	4.6.8.2300 ~ 4.6.8.2310

<ドライババージョン確認方法>

ユーザズガイドのドライババージョン確認方法を参照してください。

【BladeSymphony/HA8000/RV3000 共通】

Hitachi Gigabit Fibre Channel アダプタ ユーザズガイド

- ・Windows ドライバ編[BS2500/BS500/BS2000/BS320/BS1000/HA8000 共通]
- ・ユーティリティソフト編[BS2500/BS500/BS2000/BS320/BS1000/HA8000 共通]

<https://www.hitachi.co.jp/products/bladesymphony/docs/>

■対策に関する情報

<回避方法>

ありません。

<現象発生時の回復方法>

現象が発生した FC-HBA ポート(scsiX(*2))に対して、FC-HBA ポートの閉塞コマンドを実行し、その後、閉塞解除コマンドを実行することで回復することができます。(*2)X は OS から見える scsi 番号

- 閉塞コマンド
hfcmgr -is -i scsiX
- 閉塞解除コマンド
hfcmgr -is -i scsiX clear

コマンドの詳細は、「HITACHI Gigabit Fibre Channel アダプタ ユーザズ・ガイド(ユーティリティソフト編)」の「障害閾値管理機能」をご参照願います。

<対策バージョン>

#	対象 OS	対策ドライババージョン	推奨ユーティリティバージョン
1	Windows	Win2012	4.0.5.105
2		Win2012R2	
3		Win2016	
4		Win2019	

次の日立 Web ページから対策版ドライバをダウンロードし、適用してください。

■BladeSymphony/HA8000

【ドライバ・ユーティリティ ダウンロード】

https://www.hitachi.co.jp/cgi-bin/products/it/server/bladesymphony/dlserch_rev1/dlserch.cgi

■RV3000

【ダウンロードサイト(ドライバ/ファームウェア/ユーティリティ)】

<https://sv.hv.hitachi-systems-es.co.jp/gms/ext/DriverDownloadTop.aspx>

ドライバアップデート時の注意事項

- ドライバ更新は OS 上の作業となるため、お客様または SE にて作業をお願い致します。
- サーバの再起動が必要です。お客様業務を停止の上、アップデートを実施してください。
- ドライバのアップデート時間は確認も含め、1台当たり約 20 分と OS 再起動を要します。(お客様業務停止の時間は含みません)
- ドライバアップデートの際には、ユーティリティソフトウェアも合わせてアップデートを実施してください。